

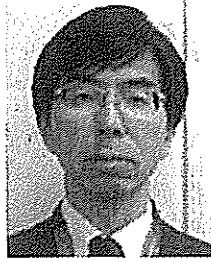
おどんが くまもと

発行：熊本県公民館連合会
 〒862-8609
 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号
 熊本県教育庁教育総務局社会教育課内
 TEL 096-333-2699
 FAX 096-387-0089
 No33 平成30年10月
 題字 村上 彪

平成三十年 九州ブロック社会教育研究大会 熊本大会の開催について

熊本県公民館連合会 事務局長
 (熊本県教育委員会 社会教育課長)

井芹 護利



本年四月から熊本県公民館連合会事務局長を務めておられます。熊本県教育委員会社会教育課長の井芹です。前任は、熊本県の知事部局の総務部総務課長でした。教育委員会勤務は初めてですので、どうぞよろしく願います。

さて、毎年、九州各県で持ち回りで開催されている「九州ブロッ

ク社会教育研究大会」が、今年は、八年ぶりに熊本県で、十月十八日、十九日の二日間の日程で開催されます。

この「第四十八回九州ブロック社会教育研究大会熊本大会」は、「平成三十年熊本県社会教育研究大会」と、「第六十三回熊本県公民館大会」を兼ね、「夢や希望あふれる思い」ば、かたらんね！「社会教育でつながる九州の絆」を大会テーマに、九州各県及び各市町村の社会教育委員や

生涯学習・社会教育関係者、公民館関係者、学校教育関係者、社会教育団体関係者など、多くの方の参加のもと開催されます。

平成二十八年四月の熊本地震、昨年七月の九州北部豪雨、そして、今年七月の西日本豪雨と、近年、未曾有の大災害が私たちの故郷を襲い、多くの被害が発生しております。本県においても、まだ、多くの方々が、仮設住宅での生活を余儀なくされております。

しかし、これまで多くの災害に見舞われても、先人たちは、そのたびに力を合わせて、苦難を乗り越え、後世に貴重な財産を残してくれました。

今の時代を担う私たちも、県民一人一人の力を合わせて、また、九州各県の仲間たちの力をいただいて、みんながひとつになつて、力強く復興に取り組んで、多くの財産を次の世代に引き継ぐ責務があると思います。

そのような中、参加者一人一人が、夢や希望にあふれる故郷の創造に向け、それぞれの思いや取組みを語り合い、九州各県の仲間との絆づくりができるこの大会は、大変貴重な機会であると考えております。

一日目の分科会では、①青少年の健全育成、②学校と地域の連携・協働、③社会教育委員の役割、④自助・共助によるまちづくりの四つのテーマの下、先進的な取組み、特徴的な取組みを行っている団体からの事例発表を交えた協議により、参加者の皆様の今後の取組みの気づきや学びの場になればと思います。

二日目の全体会では、本県の蒲島郁夫知事から、「熊本地震からの創造的復興」決断・目標・対応の政治学」と題して、記念講演を行っていただきます。日本でも著名な政治学者である蒲島知事が、県知事という自治体トップの立場から、熊本地震を通して感じられたその時々などの示唆に富むお話が聞けるものと思えます。

開会前には、本県八代市にある私学「秀岳館高等学校」の雅太鼓部に、「雅太鼓」を披露してもらいます。生徒たちの一生懸命な、そして勇壮な雅太鼓の演奏を御堪能いただければと思います。

是非、多くの皆様の御参加をお待ち申し上げます。あふれる思いをみんなで語り合いますよう！

わがまちの公民館

西南戦争遺跡を通じた公民館事業

玉東町中央公民館
玉東町教育委員会社会教育課 主査 宮本 千恵子

玉東町は、玉名郡の東に位置し、金峰山三ノ岳の山並みと美しい農村風景が広がる人口五千三百人の小さな自治体です。明治十年には国内最後の内戦、西南戦争の激戦地となり、町内には多くの関連遺跡（内七カ所が熊本市の田原坂と併せて国指定史跡）が残っています。

町では、平成二十一年度から熊本市と連携し、これら遺跡の保存・活用に取り組んでおり、その一環として玉東町中央公民館等において西南戦争歴史講座や西南戦争歴史検定、遺跡めぐりウォーキング等を開催しています。歴史講座は、平成二十二年より始めた年間五回程度の連続講座で、西南戦争を通して近代の歴史を学び深める内容となっています。近代史をはじめ、考古学や軍事史を専門とする講師により多様な視点から御講演いただいております。また、歴史検定は、平成二十四年度から始められたもので、西南戦争に関する

知識を定着させ、遺跡や地域への愛着形成、いずればガイドとして活躍いただける方を育成する目的で始めました。初・中・上級とあり、昨年度までの五年間で、のべ二百五十一人が受検し、中には西南戦争遺跡めぐりウォーキングのガイドとして活躍されている方もいらっしゃいます。

これらの事業は、町内外者の交流の場ともなっており、今後、これら事業の充実を図り、地域の活性化に貢献していきたいと考えています。



平成29年度西南戦争歴史講座の様子

地域の特色を生かした公民館活動を

人吉市中央公民館長 末次 美代

人吉市では、中央公民館と六小学校区に設置した校区公民館において、様々な生涯学習講座を実施しています。

中央公民館では、熊本学園大学、中小企業大学校人吉校と連携した「ひとよし花まる学園大学」を開設しています。これは、現代社会の課題や郷土史の新しい視点などについて、地元で、大学の先生方の最新の研究成果を受講できる機会として好評を博しています。

地域のコミュニティセンターとして役割を担っている校区公民館では、子ども十二講座、成人三十五講座を開設しています。地域の特色を生かし、伝統を未来へ引き継ぐため、地元の人材を講師に招き、地元特産の野菜等を栽培したり、地元で多く生育している竹木を利用した木工、竹細工の講座を開講するなど、地域性のある講座を展開しています。また、健康長寿を目指して太極拳、リズムダンス、

ストレッチヨガ、3B体操などの人気も高く、愛好者が増加しています。

住民の要望を的確に把握し、幅広い学習機会を提供するために、公民館長をはじめ公民館指導員、教育委員会職員も毎年先進地視察を行い、研鑽を積むことにより、これからも住民一人一人を大切にしたい魅力ある公民館活動を続けていきたいと考えています。



ストレッチヨガの講座風景

平成三十年度表彰一覧

熊本県優良公民館表彰

郡市公連名 公民館名
 熊本市 北向下公民館
 熊本市 世安町公民館

熊本県優良公民館職員表彰

郡市公連名 公民館名・役職名 氏名
 熊本市 前飽田公民館社会教育主事 田尻 俊治
 人吉市 東校区公民館長 中島 靖
 人吉市 中原校区公民館指導員 西 洋子



平成三十年度 役員一覧

〔役員〕

役職名 郡市公連名 氏名 役職名 郡市公連名 氏名

会長	八代郡	太田 篤洋	評議員	熊本市	川口 雅嗣
副会長	葦北郡	竹浦 裕道	〃	八代市	池田 尚武
〃	熊本市	渡部 秀和	〃	人吉市	山田美智子
理事	八代市	澤田 宗順	〃	荒尾市	切通 陽子
〃	人吉市	前村 洋宣	〃	水俣市	本田 真一
〃	荒尾市	木下 恵介	〃	玉名市	坂村 息吹
〃	水俣市	島田 竜守	〃	天草市	松下 智幸
〃	玉名市	小山 聡	〃	山鹿市	長瀬 勝美
〃	天草市	嶺 力	〃	菊池郡市	池田 一也
〃	山鹿市	園田 正高	〃	宇城地区	西寺 清
〃	菊池郡市	山本美千代	〃	上天草市	椏本 章吾
〃	宇城地区	中川 幸生	〃	阿蘇郡市	高口 真徳
〃	上天草市	樺本佐戸之	〃	玉名郡	橋本 健
〃	阿蘇郡市	麻生 廣文	〃	上益城郡	仲原 琴美
〃	玉名郡	赤木二三也	〃	八代郡	沖村 眞一
〃	上益城郡	蔵田 勇治	〃	葦北郡	志水 哲治
〃	球磨郡	米良 隆夫	〃	球磨郡	谷川恵里子
〃	天草郡	江上 繁隆	〃	天草郡	永野 道生
監事	熊本市	西 健一			
〃	熊本県	松原 忠信			

平成三十年度大会情報

第四十回全国公民館研究会東京大会

公民館がひらく日本の未来

地域性・個性を活かした

新しい公民館活動を！

日時 平成三十年十一月一日(木)

場所 日本青年館(東京都新宿区)

第二日(金)

第六十九回九州地区

公民館研究会沖縄大会

地域をつなぐを支える

公民館活動を目指して

持続可能な地域活動を考える

日時 平成三十年十一月十五日(木)

第十六日(金)

会場 沖縄県立武道館アリーナ棟他

(沖縄県那覇市)

第四十八回九州ブック社会教育研究

大会熊本大会 兼 平成三十年度熊本

県社会教育研究大会・第六十三回熊本

県公民館大会 合同大会

夢や希望「あふれる思い」ば、

かたらんね！

社会教育でつながる九州の絆

日時 平成三十年十月十八日(木)

十九日(金)

場所 市民会館シアーズホーム

夢ホール他(熊本県熊本市)

の | お | 知 | ら | せ |

八代部 人材交流事業 ふれ愛スタディ in 大空

氷川町では、平成30年8月2日から6日にかけて、友好町、北海道大空町と氷川町の中学2年生による人材交流事業が実施されました。

氷川町からは、12名が北海道大空町を訪問し、ホームステイを行うなど、雄大な自然が広がる北海道を舞台に交流を深め、世界自然遺産「知床」のクルージング、北方領土やアイヌ民俗資料館の見学など、現地で学習を深めました。来年1月には「ふれ愛スタディ in 氷川」として大空町の中学生が氷川町を訪れることになっています。



水俣市 夏休み子ども教室 ～お天気のみみつを学ぼう～

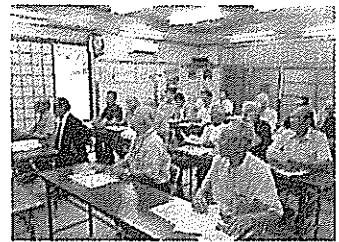
毎年、開催しています公民館自主事業「夏休み子ども教室」を平成30年8月8日に、気象予報士・早田蛍さんを講師に迎え、小学生など約120名を対象に開催しました。気象についての知識や雲を発生させる実験などに加え、自然災害などから身を守る日常の心構えを楽しく学びました。なかでも、各気象実験コーナー（4種類）は大人気で、日頃あまり見ることのない実験器具を用い、体験をする子どもたちのいきいきとした笑顔が印象的でした。



葦北郡 自治公民館長管外研修の開催

葦北町自治公民館連絡協議会では、各公民館が核となり地域特有の歴史と文化を継承し、発展させていくことを目的に、毎年、管外研修を実施しています。

今回は、大分県にある安心院町松本「イモリ谷」苦楽分の『むら』を支える『ひとづくり』について学びました。「ひとづくり」は、まず、意識改革。無関心層をどう引き出すかであり、そのキーワードは「よそ者（Iターン者）」「若者」「女性」「ばか者（何をおいても実行する人）」などの話しに、参加者一同更なる意識の高揚が図られました。

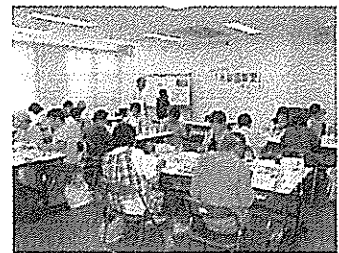


上天草市 公民館講座を5年ぶりに開催

上天草市中央公民館では、市民の教養の向上を図ることを目的に、公民館講座を5年ぶりに開催しています。年6回の「水彩画教室」を計画したところ、25名の参加者が集まりました。

初回、学習の励みとして、新天草1号橋開通記念「スケッチ大会・コンテスト」を案内。3回目までの間に、画材、構図や色について学び、5月に開通した天城橋を描きました。

残り3回はお気に入りの風景写真を持参し描く予定で、その後は自主講座として繋げていきたいと考えています。



天草郡 七夕飾りで異世代間交流

葦北町都呂々公民館では、毎年7月の恒例行事である“七夕飾りづくり”を開催しました。これは高齢者大学のふれあい交流事業の一環として行うもので、公民館へ地元の保育園・小学校から園児・児童を招待し、高齢者大学受講生と一緒に飾り付けをしました。

「はやくおとうとがうまれますように」「膝が治って正座ができますように」など、色とりどりの短冊に思い思いの願い事を書いて笹竹に飾り付け、季節の伝統行事と異世代交流を楽しみました。



郡市公連から

熊本市 人にやさしく心通うあたたかい公民館であるために

熊本市社会教育主事会では、人権意識の向上を目的に、毎月の会議の中で時間を設定し、研鑽を図っています。これまで「高齢者」「聴覚障がい者」「妊婦」などの擬似体験を通じて、その方々の困り感を痛切に感じることができました。現在は手話学習に取り組んでいます。様々な立場の皆様と幅広い交流をすることで、「公民館が、集う人々にとってやさしく心が通いあう場所でありたい」との思いを深めるようになりました。



宇城地区 心に元気と若さをチャージ!

美里町中央公民館では、生涯学習講座のひとつとして高齢者学級「美里大学」を年間5回開催しております。6月29日は、地域おこし協力隊の橋村さくらさんに、「熊本地震で学んだこと～なくしてから気づいた生きるとは～」と題して、九州東海大学農学部南阿蘇キャンパス当時の生活と地元黒川地区住民の方との絆、熊本地震からその後のお話をされ、「生きてるだけで誰かの支えになっています。大切な人の大切な人はあなたです!」と語る橋村さんのお話を受講生も熱心に聞き入っておられました。



荒尾市 歌って遊んで英会話を身につけよう

荒尾市中央公民館では、平成30年7月26日～8月16日(全4回)に「わくわく親子で体験タイ 英会話教室」を開催しました。参加者は小学生16人とその保護者15人で、荒尾市国際交流員のTan先生を講師にお迎えし、歌や体操、ゲームなども交えて楽しく英会話を学びました。また今回は、荒尾市の中学生14人にボランティアスタッフとしてアシスタントをしていただきました。皆さん、地域の役に立つことが出来たという手応えを感じていたようです。



菊池郡市 なつやすみ企画!小学生講座の開催

菊池市では、夏休み期間を活用して、小学生を対象とした講座を開催しました。様々な講座の中、「楽しいプログラミング講座」では、熊本高等専門学校の先生と学生に出前講座を依頼し、参加者からは「もっとプログラミングをしてみたい。学生のお姉さんの説明が分かりやすくて楽しかった。」との感想もあり、学ぶ楽しさを友達と共感したり、学校や学年を超えた交流を図ったりすることができました。今後も関係機関と連携し、社会のニーズに配慮した講座の企画運営に努めていきます。



阿蘇郡市 宿徳大学の開催

小国町では、高齢者の方を対象とした宿徳大学を開催しています。様々な知識を蓄えていただき、さらにこれからの人生の生きがいとしていただく為に実施しています。

昨年は「歯と健康」と題して講演を行い、約70名の参加がありました。参加者からは「健康を気にするきっかけになった」などの感想を持たれ、講演で学んだことについて子や孫に注意を促す方もおられました。

参加者からは大変好評で、今後の講演に期待されていました。



社会教育情報

くまもと家庭教育支援チーム

熊本県教育委員会では、全国で初の「くまもと家庭教育支援条例」制定の趣旨を踏まえ、「県民みんなが応援団！」をキャッチフレーズに、保護者、学校、地域、行政等が皆で家庭教育支援を行っていること「くまもと家庭教育支援チーム」登録制度を設け、その機運を高めています。ぜひ登録いただき、家庭教育を支える一助となつてください。

Q...登録したらどんな取組をするの？

- 家庭教育講座で、「親の学び」講座を開催するなど関わりと学びの場を提供する。
 - 社会教育課が作成しているチラシを配布し、家庭教育の啓発を行う。
 - 家庭教育に関する相談体制の整備を行う。(相談員の配置や相談窓口カードの設置等)
 - 親子体験活動の企画や地域の行事へ協力をする。
 - 読み聞かせを行ったり、読書会を開催したりする。
- 各団体の状況に応じて取り組んでいただいています。年間の回数等の決まりはありません。計画書、実績報告書等の提出もありません。

Q...現在の登録数は？

○現在七百五十七団体、うち六公民館に登録してもらっています。(平成三十年九月七日現在)

Q...登録するときはどうするの？

○登録申請書に所属名、団体長名、団体の住所等を記入してFAXしてください。登録は無料です。詳しくは、熊本県教育委員会ホームページをご覧ください。

※県公連事務局に、連絡いただいても可能です。

平成31年度大会情報

第四十一回全国公民館研究集会佐賀大会

第四十九回九州ブロック社会教育研究大会

第七十回九州地区公民館研究大会

日時 平成三十一年八月二十九日(木)

三十日(金)

場所 佐賀市文化会館他(佐賀市)

第六十四回熊本県公民館大会

日時 未定

場所 宇城地区開催予定



編集後記

今年度も早いもので半分が過ぎました。猛暑の夏でしたが、いかがお過ごしだったでしょうか。

十月十八、十九日には熊本市で開催されます九州ブロック社会教育研究大会熊本大会は、熊本の元気を九州各県へ広めていけるよう頑張つて準備を進めております。役員等で参加されます皆様、大変お世話になります。